



熱対策カメラケース

WH1000-T・KH4000-AS-M

活用のご提案

～高温度環境下監視の効率化～

TOSHIBA

東芝テリ株式会社

営業部 第二営業担当

お客様のご要望

炉内の**燃烧状況**や、**各計器の値**などを、
安全性が確保された運転室から、
遠隔でいつでも確認・把握したい。



けれども、、、

- ① 監視場所が高温度環境下だけど、カメラを設置できるかなあ。
- ② 高温度環境下だけど、水(冷却用)の使用は出来ない・・・。
- ③ IPカメラ、アナログカメラ両方で使用したい！

ご提案

水冷カメラケース「WH1000-T」の導入で問題を解決 その1



監視場所が高温度環境下だけど、カメラ設置できるかなあ

特徴1：周囲温度100℃までの高温度環境下でも使用可能です。



水冷カメラケース



循環水

循環水

エア

【監視対象】

燃烧炉等炉内部の燃烧状况を監視窓より確認。

【納入施設】

烧却炉／ボイラー／製鉄所

【対象機種】 WH1000-T

【周囲温度】 80℃～100℃

【冷却方法】 中間通水式

ご提案

空冷カメラケース「KH4000-AS-M」の導入で問題を解決 その2



高温度環境下だけど水の使用が出来ない・・・

特徴2：空冷式カメラケースで高温度環境下でも水の利用をせず監視できます。



空冷カメラケース



エア

エア

- 【監視対象】 燃料等の計器
- 【納入施設】 焼却炉／ボイラー
製鉄所
- 【対象機種】 KH4000-AS-M
- 【周囲温度】 -10℃～+55℃
- 【冷却方法】 空冷式

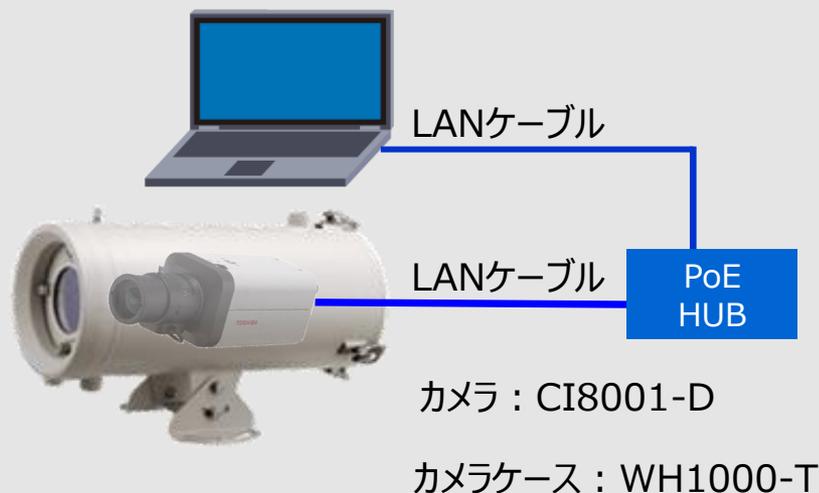
WH1000-T、KH4000-AS-Mの導入で問題を解決 その3



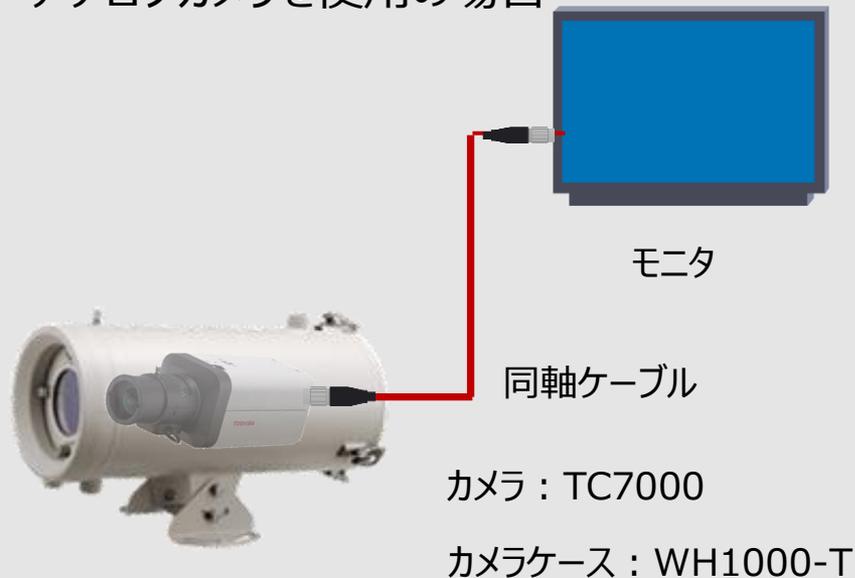
IPカメラ、アナログカメラどちらでも使用したい！

特徴3：IPカメラ、アナログカメラのどちらでも使用可能です。

IPカメラを使用の場合

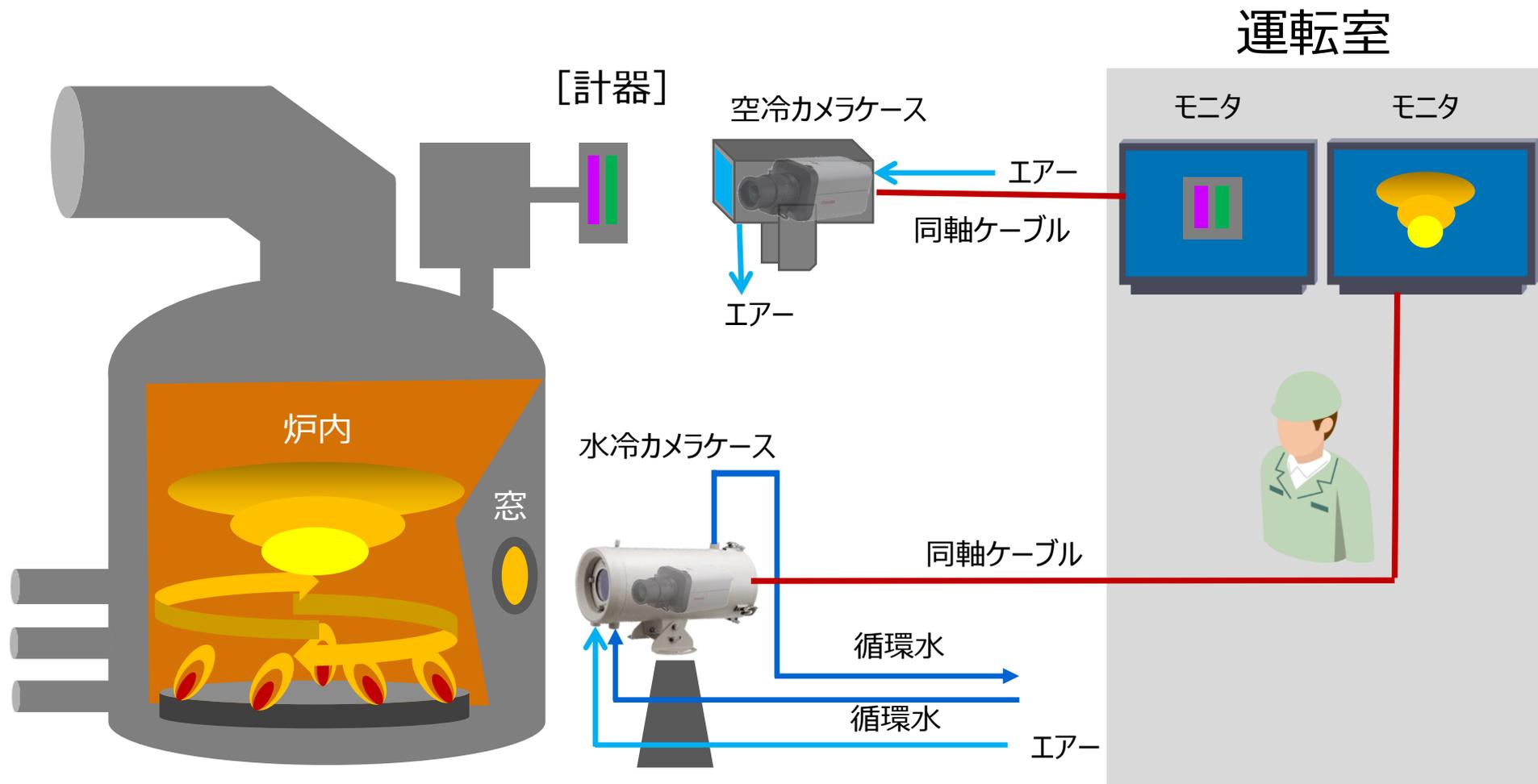


アナログカメラを使用の場合



炉内・燃料等計器監視システム活用・提案事例

システム系統図



システム構成機器（熱対策カメラケース）

機器の主な特徴

水冷カメラケース WH1000-T



高温雰囲気中のカメラ監視を行う場合に使用可能な、円筒密閉構造の中間通水式水冷カメラケースです。

- ◆ **高温雰囲気中でのカメラ監視に適応。**
周囲温度：80℃～100℃
（冷却水温度：35℃以下（ほか条件あり））
- ◆ **エアパージおよび熱線反射ガラスの標準装備。**
炉内からの輻射熱や周囲の塵埃等からカメラを保護。
エア条件：流量50～200L/min（ほか条件あり）
- ◆ **カメラの取り出しが簡単なので、保守・点検も容易。**

空冷カメラケース KH4000-AS-M



塵埃や周囲の熱からカメラを保護する、送風式の空冷カメラケースです。

- ◆ **周囲の熱からカメラを保護。**
周囲温度：-10℃～+55℃
（冷却エア温度：40℃以下（ほか条件あり））
- ◆ **室内の塵埃からカメラを保護**
送風式のため、カメラの冷却と共に周囲の塵埃がケース内に入ることを防ぎます。
- ◆ **カメラの取り出しが簡単なので、保守・点検も容易。**

ご注意とお願い

- ◆ 本資料に記載の内容は、事前のお断りなしに変更することがあります。
- ◆ 記載の商品／システムは、特定のエリアの映像監視を目的として設計・製造しておりますが、商品／システム単独で犯罪の抑止や事故の防止を保証するものではありません。
- ◆ 記載の商品／システムの使用または使用不能から生ずる付随的な損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ◆ 記載の商品／システムで撮影された映像の内、個人を特定できる情報は「個人情報」に該当しますので、法令に従って適切にお取り扱いください。
- ◆ ご不明な点、最新の情報、導入にあたっての詳細につきましては、弊社営業担当までご照会いただきます様お願い致します。

TOSHIBA